

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備  
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり  
 取り組みの方向 (1) 男女の性と人権尊重の理解の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】  
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)  
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上  
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満  
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満  
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

021	事業名	<b>性と生殖に関する健康と権利についての講座の開催</b>	課所 事業費	男女共同参画支援センター 70,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民に、性と生殖に関する健康と権利についての意識の普及・啓発を図る。		性と生殖に関する健康と権利についての講座を他機関と協働で開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 諸外国と比べ睡眠時間が短い日本人の中でも40代～50代女性は特に短く、平均6時間台となっている。生活や健康にさまざまな悪影響を与えると指摘されている睡眠不足の解消をテーマに、埼玉県立大学との協働で講座を実施した。12/3「睡眠と健康～ぐっすり眠れるコツ～」				
【活動実績(活動指標)】 参加率 <目標> 80 % <実績> 100 % 達成度 5 (十分に達成できた)		【取り組みの成果(成果指標)】 満足度 <目標> 80 % <実績> 100 % 達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:30人(女性24人、男性6人) 募集人数:30人		「寝付けない原因は加齢による生体リズムの変化のためであるとの説明をされ、納得がいった」「理論と実技が両立して楽しかった」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる) <H28実績> C		更年期を迎える中・高齢期女性の健康意識を高めるという視点からの講義により、女性のライフステージに応じた身体の変化を理解し、家族のケア役割を優先しがちな女性が自分の心と身体に目を向けることの大切さへの意識づけを行うことができた。		
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を推進する。		

022	事業名	<b>性の多様性の理解促進に関する講座の開催</b>	課所 事業費	男女共同参画支援センター 30,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民に、性の多様性の理解を促すとともに、互いに尊重し合う意識の啓発を図る。		性的少数者の問題等への理解を深める講座を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 生涯学習課と共催で、2/25「LGBTの子どもたちが学校で安心して過ごすために」を実施した。LGBTの子どもたちが学校でどのような困難を抱えるかについて知り、困難を解消するために学校・先生・家族・地域ができることを考えた。				
【活動実績(活動指標)】 参加率 <目標> 80 % <実績> 100 % 達成度 5 (十分に達成できた)		【取り組みの成果(成果指標)】 満足度 <目標> 80 % <実績> 97 % 達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:51人(女性41人、男性8人、その他2人) 募集人数:30人		「LGBTの基本的な知識から、学校・社会での対応、配慮について、丁寧に説明していただき、よくわかりました」「当事者の目線で、あらゆる世代に向けた、わかりやすいお話だったので、他の人にLGBTについて話す時の参考になる」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる) <H28実績> A		「性の多様性」に関する知識・情報とともに、LGBTの子どもたちが抱える困難と周りの大人たちができることについての確に伝え、多様性を認めあえる、誰もが生きやすい社会に対する理解を深めることができた。		
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備  
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり  
 取り組みの方向 (1)男女の性と人権尊重の理解の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】  
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)  
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上  
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満  
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満  
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

023	事業名	生涯を通じた女性の健康に関する講座の開催	課所 事業費	市民健康課 59,500円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民に、生涯を通じた女性の健康に対する意識の普及・啓発を図る。		生涯を通じた女性の健康に関する講座を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 「40代から50代を迎える貴女に『Ki・Re・I』のススメ～更年期とうまく付き合おう～』をテーマに、医師による講座「自分のカラダと向き合おう！」の他、各種専門職による講座(全4回)を行なった。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 50 % <実績> 38.0 %		<目標> 90 % <実績> 93.7 %		
達成度 3 (達成まで今一歩)		達成度 5 (十分に達成できた)		
女性を対象とした講座 参加人数:68人(54人(4回コース)、14人(公開講座)) 募集人数:179人(40人×4回(4回コース)、19人(公開講座))				
事業の評価				
C (より積極的な取り組みが必要)		4回コースとしての参加者の他に、専門性の高い1回目(医師の講話)と4回目(大学教授の講話)を一般公開講座とし、4回の出席が難しい方へ参加しやすい配慮を行なった。定員を30人から40人に増やしたが、昨年の定員を基準に参加率を計算すると48.9%であった。		
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
4回コースの申込者のうち、4回全て参加した方が少なかった(4人)。		定員を再度検討する。 内容やタイトルを工夫し、積極的にPRを行う。		

024	事業名	女性特有の疾病の予防・啓発(乳がん)	課所 事業費	市民健康課 90,741,421円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
妊娠・出産等、男性とは異なる身体機能に由来する女性の健康上の問題についての適切な対応を図る。		乳がん検診を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 対象:35歳以上の女性で奇数(1・3・5・7・9・11)月生まれの方、平成28年度未受診の方、がん検診推進事業(無料クーポン券発行)対象の方 内容:問診、視触診、マンモグラフィ(X線)検査				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
受診者数		受診率		
<目標> 8,600 人 <実績> 9,119 人		<目標> 24.4 % <実績> 25.7 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
受診勧奨通知を74歳までの対象者の方に送付した。がん検診推進事業の対象者には無料クーポン券を発行した。				
受診率については、2年連続受診者を差し引いて算出することとなっている。				
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
2年に1回の受診機会を継続的な検診につなげるため、勧奨を行う必要がある。		個別検診の開始前に勧奨通知を送付する。		

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備  
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり  
 取り組みの方向 (1) 男女の性と人権尊重の理解の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】  
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)  
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上  
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満  
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満  
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

025	事業名	<b>女性特有の疾患の予防・啓発(子宮頸がん)</b>	課所	市民健康課	事業費	64,987,693円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
妊娠・出産等、男性とは異なる身体機能に由来する女性の健康上の問題についての適切な対応を図る。			子宮頸がん検診を実施する。※子宮頸がん検診受診者のうち、医師の判断で必要と認められた方に子宮体部がん検査を実施する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 対象:20歳以上の女性、がん検診推進事業(無料クーポン券の発行)対象の方 内容:問診、子宮頸部・体部の細胞診						
【活動実績(活動指標)】 受診者数 <目標> 9,150 人 <実績> 10,192 人 達成度 5 (十分に達成できた)			【取り組みの成果(成果指標)】 受診率 <目標> 12.1 % <実績> 13.1 % 達成度 5 (十分に達成できた)			
受診勧奨通知を75歳までの方に送付した。がん検診推進事業の対象者には無料クーポン券を発行した。			がん検診推進事業(無料クーポン券の発行)の対象者以外の若年層の受診者が少ないことが、影響していると思われる。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<H28実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
がん検診推進事業(無料クーポン券の発行)の対象者以外の若年層の受診者数が少ない。			成人式で新成人に配布するチラシの中に、検診を案内する文章を入れるなど、若年層に対する啓発を行っていく。			

026	事業名	<b>思春期保健講座の開催</b>	課所	市民健康課	事業費	45,000円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
市内の小中学生に、男女の性の違いや命の大切さについての認識を促すとともに、お互いに尊重し合う意識の啓発を図る。			思春期の性や命の大切さに関する講座を開催する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 市内小学校1校・中学校2校に市内助産師会助産師を講師として、学校側の要望に沿ったテーマで思春期保健講座を実施した。①北陽中学校2年生(生徒137人)、②東中学校3年生(生徒164人)、③大袋東小学校6年生とその保護者(児童103人・保護者5人)						
【活動実績(活動指標)】 延べ参加人数 <目標> ー 人 <実績> 409 人 達成度 5 (十分に達成できた)			【取り組みの成果(成果指標)】 理解度 <目標> 90.0 % <実績> 98.3 % 達成度 5 (十分に達成できた)			
内訳:児童生徒404人(女性199人、男性:205人)、保護者5人(女性4人、男性1人)			理解できた・ほぼ理解できたが98.3%という結果だった。自由記載では、命はかけがえの無いもの、大切なもの、親に感謝したいなど高評価であった。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<H28実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			今後も適正に実施する。			

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備  
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり  
 取り組みの方向 (1) 男女の性と人権尊重の理解の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】  
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)  
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上  
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満  
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満  
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

027	事業名	<b>男性特有の疾患の予防・啓発（前立腺がん）</b>	課所	市民健康課	事業費	13,825,795円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
女性と異なる身体機能に由来する男性の健康上の問題についての適切な対応を図る。			前立腺がん検診を実施する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 対象:①50・55・60・65・70・75歳の男性、②①以外の50歳から75歳で前立腺がん検診をはじめて受ける方 内容:問診、血液検査(PSA検査)						
【活動実績(活動指標)】 受診者数 <目標> 840 人 <実績> 2,542 人 達成度 5 (十分に達成できた)			【取り組みの成果(成果指標)】 受診率 <目標> 6.7 % <実績> 18.2 % 達成度 5 (十分に達成できた)			
受診勧奨通知を、50・55・60・65・70・75歳の男性に送付した。						
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<H28実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			個別勧奨通知を継続するとともに、特定健診との同時実施を勧める。			

028	事業名	<b>不妊治療費の助成</b>	課所	市民健康課	事業費	61,242,742円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
男女の異なる健康上の問題に対して適切な支援を行う。			「特定不妊治療」(体外受精・顕微授精)を受けた夫婦に対し、その治療費の一部を助成する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 指定医療機関において実施した、法律上の夫婦における特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)に対し、1回の治療につき、治療内容に応じて15万円(初回申請分は30万円)または7万5千円を上限に助成した。						
【活動実績(活動指標)】 申請者数 <目標> 361 人 <実績> 364 人 達成度 5 (十分に達成できた)			【取り組みの成果(成果指標)】 <目標> <実績> 達成度 5 (十分に達成できた)			
広報及び市ホームページに事業内容を掲載し、申請を促した。また、パンフレット及びポスターを作成し、配布した。			特定不妊治療を受けた夫婦に対して、治療費の一部を助成することにより、経済的負担を軽減し、また治療を受ける機会を増大し、男女の異なる健康上の問題に対する支援を行うことができた。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<H28実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			引き続き、制度周知の徹底を図る。			

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備  
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり  
 取り組みの方向 (2)相談体制の充実

【数値目標が設定されている場合の達成度】  
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)  
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上  
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満  
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満  
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

029	事業名	<b>女性相談の実施</b>	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 —
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
女性が生涯にわたって心身ともに健康に過ごせるよう、相談体制の充実を図る。		女性の生き方やパートナーに関する悩みの解決を支援するために、専門のカウンセラーが、電話相談及び面接によるカウンセリングを行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 女性・DV相談支援センターにおいて専門の女性相談員による面接相談と電話相談を実施した。 [面接・電話相談]月～土:午前10～12時、午後1～4時(第4土曜の午後2～4時は除く) [電話相談]水、金:午後5時～8時				
【活動実績(活動指標)】 相談件数(電話・面接)		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 1 件 <実績> 413 件		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
予定していた相談時間のとおりに実施することができた。		相談員が相談者に寄り添い、こころや気持ちが少しでも解放されるようなカウンセリングを行うとともに、相談者に対して、市が実施している事業や制度などの支援に必要な情報提供や具体的な取り組みの提案を行うなど、さまざまな問題の解決に向けた支援を行うことができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
相談者を取り巻く環境が複雑化していることにより、複合的な要因が絡む相談事案への対応が引き続き必要である。		支援に関わる制度や事業等の情報を相談員に継続的に提供するとともに、関係機関との連携を一層強化する。		

030	事業名	<b>女性相談による関係機関等への同行支援</b>	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 —
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
女性が生涯にわたって心身ともに健康に過ごせるための自立支援を行う。		女性の生き方やパートナーに関する悩みを解決するために、関係機関等への同行支援を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 相談者の状況に応じて、必要なときに、関係機関への同行支援を行う。				
【活動実績(活動指標)】 同行支援件数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 1 件 <実績> 3 件		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
同行先:病院、不動産会社		相談者の状況に応じて、適切な同行支援が行えた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に対応する。		

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備  
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり  
 取り組みの方向 (2)相談体制の充実

【数値目標が設定されている場合の達成度】  
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)  
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上  
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満  
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満  
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

031	事業名	女性のための法律相談の実施	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 —
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
女性が生涯にわたって心身ともに健康に過ごせるよう、相談体制の充実を図る。		男女共同参画支援センターにおいて、女性の弁護士が離婚や職場でのセクシュアル・ハラスメントなどの法律上の問題について面接相談を受ける。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 ほっと越谷」相談室において、毎月第4土曜日の午後2～4時に、女性弁護士による法律上の問題について相談を実施した。(DV相談にも対応)				
【活動実績(活動指標)】 相談件数		【取り組みの成果(成果指標)】		
〈目標〉 1 件 〈実績〉 15 件		〈目標〉 〈実績〉		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
当初予定した相談時間のとおり、実施することができた。		結婚、相続、親子、扶養などにおいて、悩みを抱える女性に対して、法律上の視点からアドバイスを行うことにより、相談者の支援を行うことができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
〈H28実績〉 A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

032	事業名	人権相談の実施	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 —
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
女性が抱える人権に関する悩み等に対し、援助及び救済を行うことで、女性の基本的な人権の擁護を図る。		毎月第1・3木曜日、人権擁護委員の日及び人権週間に相談日を受け、人権擁護委員による人権相談を行う。また、事業の実施にあたり、広報紙等を通じて周知を図る。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 毎月第1・3木曜日(祝日の場合は、翌週)に中央市民会館4階第4相談室において人権相談所を開設したほか、社会福祉施設(老人福祉センター「ゆりのき荘」)などで人権相談所を開設した。				
【活動実績(活動指標)】 女性からの相談件数		【取り組みの成果(成果指標)】		
〈目標〉 1 件 〈実績〉 0 件		〈目標〉 〈実績〉		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
計画どおり人権相談所を開設することができた。(年間25回)人権相談件数は、1件。女性からの相談はなかった。		相談体制の整備の継続により相談が必要な方への対応がスムーズに行える。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
〈H28実績〉 A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
相談件数を増やすことを目標にはしていないが、より多くの市民の悩みや心配事に応じるため、人権相談所の開設を更に周知する必要がある。		人権相談所の開設について、既存の周知方法に加え、啓発活動において、より積極的な周知を図る。		

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備  
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり  
 取り組みの方向 (2)相談体制の充実

【数値目標が設定されている場合の達成度】  
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)  
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上  
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満  
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満  
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

033	事業名	<b>女性の保護・支援</b>	課所	子育て支援課	事業費	0円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
夫以外の家族からの暴力の被害を受けているなど、深刻な状況にある女性に対し、安全の確保・支援を行う。※夫や元夫などから暴力を受けている女性については、No.86「女性の緊急一時保護の実施」(P.61)で支援を行います。			配偶者暴力相談支援センター等の関係機関と連携し、保護・支援を行う。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】						
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】			
相談件数			保護件数			
<目標> 1 件 <実績> 0 件			<目標> 1 件 <実績> 0 件			
達成度 5 (十分に達成できた)			達成度 5 (十分に達成できた)			
夫以外の家族からの暴力等に関する女性の相談や支援を行えるよう、体制を整えていたが、相談はなかった。(女性・DV相談支援センターの開設以降、子育て支援課での女性相談は減少している。)			緊急に保護を必要とするケースはなかった。(DVによる保護は3件)			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<H28実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			今後とも適切に対応する。			

034	事業名	<b>母子生活支援施設への入所</b>	課所	子育て支援課	事業費	3,242,554円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
経済状況等により児童の養育に困難を抱える母子世帯への支援を行う。			経済状況等により児童の養育に困難を抱える母子世帯からの相談を受け、必要に応じて母子生活支援施設への入所などの支援を行う。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 経済状況等により、児童の養育に困難を抱える母子世帯の相談を受け、必要に応じ母子生活支援施設への入所などの支援を行う。						
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】			
相談件数			入所件数			
<目標> 1 件 <実績> 1 件			<目標> 1 件 <実績> 1 件			
達成度 5 (十分に達成できた)			達成度 5 (十分に達成できた)			
経済状況等により、児童の養育に困難を抱える母子世帯の相談を受けた。			緊急に保護を必要とするケースがあった。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<H28実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			今後も適切に対応する。			



基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備  
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり  
 取り組みの方向 (3)防災の分野における男女共同参画の視点の配慮

【数値目標が設定されている場合の達成度】  
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)  
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上  
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満  
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満  
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

036	事業名	<b>防災活動における女性の参画促進</b>	課所 事業費	危機管理課 —
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
非常時においても男女の人権が尊重され、また防災分野における方針決定過程への女性の参画が拡大されるよう、防災訓練においても男女共同参画の視点を踏まえる。		市が主催する地域の防災訓練において、女性の参加を促す。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 平成29年度に開催した「越谷市・出羽地区合同総合防災訓練」において、自治会、中学生等の参加団体に対し、事前説明会でも男女共同参画の必要性を伝えた。その結果、参加総数2,518名に対し女性の参加者は、1,047名(42%)となった。				
【活動実績(活動指標)】 防災訓練の実施回数		【取り組みの成果(成果指標)】 防災訓練の女性の参加割合		
<目標> 1 回 <実績> 1 回		<目標> — % <実績> 42 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		訓練参加自治会(39自治会)、出羽地区その他の団体としては、2,037名に対し、女性の参加者は、962名(47%)となった。		
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
防災訓練における女性参加割合は、年々増加しているが、参加しやすい環境と啓発が必要である。		女性の参加しやすい環境を整えるとともに、より役立つ実践的な訓練内容等(避難訓練、国民保護訓練等)を検討する。		

037	事業名	<b>防災備蓄品における女性への配慮</b>	課所 事業費	危機管理課 1,334,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
被災時における男女のニーズの違いを把握し、備蓄品について女性への配慮を行う。		特に女性が必要と思われる用品を備蓄品として確保する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 簡易間仕切り、女性用下着セット等、特に女性に配慮する用品について、目標達成に向け、計画的に備蓄を行った。				
【活動実績(活動指標)】 主な女性向け用品の備蓄率		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 74.5 % <実績> 67 %		<目標> <実績>		
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
		女性向け用品の備蓄率を上げ、目標数量を達成することができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		長期的な計画に基づき、備蓄目標を達成した。		
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
女性に必要と思われる備蓄品目や備蓄数について、再検討する必要がある。		有識者の意見や被災地の事例などを参考に検討を進める。		

基本目標 II 男女がいきいきと暮らせる環境の整備  
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり  
 取り組みの方向 (3)防災の分野における男女共同参画の視点の配慮

【数値目標が設定されている場合の達成度】  
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)  
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上  
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満  
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満  
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

038	事業名	<b>防災活動における男女共同参画啓発の取り組み</b>	課所 事業費	男女共同参画支援センター 70,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
防災分野における男女共同参画を推進する。		防災における女性リーダー養成のための講座等事業を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 危機管理課と協力し、2/4「どうするトイレ問題！～さまざまな人に配慮する避難所運営～」を実施した。発災時のトイレ対策の重要性を理解し、避難所運営に女性をはじめとする多様な人が関わることの大切さを具体的に学んだ。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
実施事業数				
<目標> 1 回 <実績> 1 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:74人(女性37人、男性37人) 募集人数:50人		「災害時のトイレ対策の重要性が切実なものとして理解できました」「災害時のトイレ問題は重要と思っていたので、わかりやすい説明で理解できた。『男女共同参画と防災』の話からいいヒントをいただいた」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		災害時のトイレ対策という身近で切実なテーマを取り上げたことで、自治会関係者の参加者が多かった。自治会における男女共同参画の視点を持つ防災リーダーの育成を行うことができた。		
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に事業を実施する。		

基本目標 II 男女がいそいそと暮らせる環境の整備  
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援  
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】  
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)  
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上  
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満  
 3(達成まで今一歩): 目標値の60%以上80%未満  
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

039	事業名 <b>送迎保育の実施</b>	課所 事業費	子ども育成課 38,510,447円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段	
保育園の開所時間内に保育園へ児童を送迎できない保護者に代わり、保育ステーションにおいて送迎及びそれに伴う保育を行うことにより、仕事と育児の両立を支援する。		指定私立保育園への児童の送迎及びそれに伴う保育を行う。	
事業の実施内容と成果			
【実施内容】 仕事と子育ての両立を支援するため、利便性の高い駅前に2か所保育ステーションを設置し、送迎保育を実施した。			
【活動実績(活動指標)】 利用可能な人数(延べ)		【取り組みの成果(成果指標)】 延べ利用人数	
<目標> 14,360 人 <実績> 11,720 人		<目標> - 人 <実績> 1,726 人	
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)	
利用定員×保育ステーション数×送迎保育可能日数(平日+土曜日) = 20人×2か所×293日 = 11,720人		延べ利用人数が前年度実績(1,869人)に比べ減少した。	
事業の評価			
B (概ね順調に取り組んでいる)		前年度に比べ利用者数が減少したため、今後も登録者数や利用者数の拡大を図る必要がある。	
<H28実績> B			
認識した課題		課題解決に向けた対応	
利用者数が減少傾向にある。		登録者数や利用者数を増加させるべく、子育て世帯に対し事業の周知を図る。また、送迎保育がより利用しやすいものとなるよう検討していく。	

040	事業名 <b>一時預かりの実施</b>	課所 事業費	子ども育成課 75,119,909円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段	
市民の育児と他の活動(就職活動、通院、リフレッシュ等)との両立を支援する。		保育ステーション及び地域子育て支援センターにおいて、一時預かりを実施する。	
事業の実施内容と成果			
【実施内容】 地域子育て支援センター10か所と保育ステーション2か所において、保護者の急用時や子育てのリフレッシュを図りたいときなどに、保護者の代わりに児童を保育する一時預かりを実施した。(28年度実績では対象となる支援センターを9か所としていたが、より適切な実績を把握するため、29年度実績では対象となる支援センターを10か所とした。)			
【活動実績(活動指標)】 利用可能な人数(延べ)		【取り組みの成果(成果指標)】 延べ利用人数	
<目標> 43,580 人 <実績> 42,425 人		<目標> - 人 <実績> 14,751 人	
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)	
(地域子育て支援センター10か所の合計定員×平成29年度の開所日数) + (保育ステーション2か所の合計定員×平成29年度の開所日数) = (85人×244日 + 25人×293日) + (40人×359日) = 28,065人 + 14,360人 = 42,425人		地域子育て支援センター10か所と保育ステーション2か所の平成29年度一時預かり延べ利用者数 = 7,019人 + 7,730人 = 14,749人	
事業の評価			
A (順調に取り組んでいる)		年度により増減はあるものの一定以上の利用実績があるため、保護者に広く認知され、保護者の育児と他の活動の両立に寄与していると考えられる。	
<H28実績> A			
認識した課題		課題解決に向けた対応	
特になし。		今後も適切に事業を実施する。	

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備  
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援  
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】  
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)  
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上  
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満  
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満  
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

041	事業名 <b>保育所運営</b>	課所 事業費	子ども育成課 3,318,042,169円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段	
市立保育所18か所において良質かつ適切な保育サービスの提供に努めるとともに、障がい児保育・延長保育等多様な保育ニーズに応えられるよう、適正な保育所運営の確保に努めることで、市民の育児と他の活動の両立を支援する。		適正な保育所の運営を通じて、良質で適切な保育サービスを提供する。	
事業の実施内容と成果			
【実施内容】 市内保育所18か所において、0歳児から5歳児までの保育サービスの提供、保育と就労等の両立の支援、特別支援保育、延長保育等を実施した。			
【活動実績(活動指標)】 保育所(市立)の定員		【取り組みの成果(成果指標)】 保育所(市立)入所児童数	
<目標>	2,020 人	<実績>	2,008 人
達成度	4 (概ね達成できた)	<目標>	— 人
		<実績>	1,885 人
		達成度	5 (十分に達成できた)
保育サービス等の提供により、保育と就労等の両立に対する支援が行えた。			
事業の評価			
A (順調に取り組んでいる)			
<H28実績> A			
認識した課題		課題解決に向けた対応	
各施設の4歳児及び5歳児の定員に空きが見られるようになっている。反面、低年齢児(特に1歳児)は高い充足率となっており、入所保育児童数及び待機児童数は圧倒的に1歳児が多い。		引き続き適正な保育所運営の確保に努めるとともに、資源の有効活用による需要への対応を検討する。	

042	事業名 <b>延長保育の実施</b>	課所 事業費	子ども育成課 34,004,100円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段	
市民の育児と就労等との両立を支援する。		就労形態の多様化や通勤時間に即した保護者のニーズに適切に対応するため、延長保育を実施する。	
事業の実施内容と成果			
【実施内容】 就労形態の多様化や通勤時間に即した保育ニーズに対応するため市内の認可保育所87か所(公立18、私立22、認定こども園5、地域型保育事業所42)において保育認定時間を越える延長保育を実施した。			
【活動実績(活動指標)】 利用可能な人数		【取り組みの成果(成果指標)】 延べ利用人数	
<目標>	4,522 人	<実績>	5,108 人
達成度	5 (十分に達成できた)	<目標>	— 人
		<実績>	85,772 人
		達成度	5 (十分に達成できた)
平成29年度は私立保育所1施設、地域型保育所5施設を新設し、どの施設も保育認定を越えた時間の預かりを実施しており、多様な就労形態に沿った保育ニーズに対応したため。			
事業の評価			
A (順調に取り組んでいる)			
<H28実績> A			
認識した課題		課題解決に向けた対応	
特になし。		今後ともに適正に事業を実施する。	

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備  
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援  
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】  
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)  
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上  
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満  
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満  
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

043	事業名	<b>病児等保育の実施</b>	課所	子ども育成課
			事業費	11,095,400円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段	
市民の育児と他の活動との両立を支援する。			病児り患中又は回復期にある生後3ヶ月から小学校3年生までの乳幼児・児童を一時的に保育する。(H28: 病後児保育 H29. 30病児保育・病後児保育)	
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 社会福祉法人に委託している市内1か所の専用保育室で定員5名に対し看護師1名、保育士2名を配置し運営した。				
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】	
<目標> <実績> 達成度 5 (十分に達成できた)			延べ利用人数 <目標> ー 人 <実績> 341 人 達成度 5 (十分に達成できた)	
問い合わせ:38件 新規登録数:298件 利用予約:686件(うち解約345件)			前年度63人の利用者に対し、平成29年度は病児保育も可能となったことから341人の利用となり増加となった。	
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)			今年度、病後児保育室から病児保育室に移行したことにより前年度実績の約5倍の増加となり、児童が病気であっても安心な預け先として、日中勤務している保護者に認識されている。	
<H28実績> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			今後も適正に事業を実施する。	

044	事業名	<b>保育所(園)入所(園)事業</b>	課所	子ども育成課
			事業費	4,151,185,245円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段	
市民の育児と他の活動との両立を支援する。			多様化する保育需要に対応するため、市内の民間保育施設(私立保育園、認定こども園、施設型給付を受ける幼稚園、地域型保育事業所)及び市外の保育施設の保育の実施を委託する。	
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 市内の民間保育施設71か所(私立保育園22か所、認定こども園5か所、施設型給付を受ける幼稚園1か所、地域型保育事業所43か所)及び市外の保育施設57か所に、市内児童の保育を委託した。				
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】	
<目標> <実績> 達成度 4 (概ね達成できた)			市内民間保育施設、市外委託保育延べ人数 <目標> ー 人 <実績> 47,339 人 達成度 4 (概ね達成できた)	
民間保育施設の新設、定員の増員、保護者の利便性等の向上となる市外における保育の実施委託希望をくみ取り、依頼するなど様々な取組を実施したが、待機児童を減らすことがかなわなかった。(平成28年度38人→平成29年度43人)			待機児童を減らすことはかなわなかったが、民間保育施設の新設、定員の増員や保護者への丁寧な情報提供を行ったことにより、昨年度より多くの児童の保育を実施することができた。	
事業の評価				
B (概ね順調に取り組んでいる)			民間保育施設の新設や定員の増員に加え、保育施設の年齢別空き状況等を積極的に情報提供し、また、市外の保育施設を希望する児童に関する相談や委託先市区町村との協議を行うことで、昨年度より多くの児童について保育の実施を委託することができた。(市内民間保育施設、市外委託保育のべ人数 平成28年度44,163人→平成29年度47,339人)	
<H28実績> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
入園を希望する人に対し、可能な限り多くの選択肢を提供していく。			窓口の申込受付では、今後も保護者からの希望を踏まえ、適切な情報提供を行っていく。	

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備  
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援  
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】  
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)  
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上  
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満  
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満  
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

045	事業名	<b>学童保育室運営</b>	課所	青少年課	事業費	672,090,000円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
市民の育児と他の活動との両立を支援する。			保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対して、適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図るため、指導員による学童保育を運営する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 市内47か所の学童保育室において、保護者が就労等により保育のできない小学生の児童に対して、放課後の遊びや生活の場を提供した。						
【活動実績(活動指標)】 公立学童保育室入室児童定員			【取り組みの成果(成果指標)】 公立学童保育室延べ利用人数			
<目標> 2,750 人 <実績> 2,826 人 達成度 5 (十分に達成できた)			<目標> - 人 <実績> 32,039 人 達成度 5 (十分に達成できた)			
平成29年度は、越ヶ谷学童保育室と川柳学童保育室において定員の拡大を図った。今後も待機児童の解消及び保育環境の拡充を目指して施設整備事業を推進していく。			入室を希望する児童が一人でも多く利用できるよう、途中退室や入室辞退により生じた空き枠に対して毎月入室選考を実施し、受入れ児童の増加に努めた。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<H28実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			今後とも適正に事業を実施する。			

046	事業名	<b>ファミリーサポートセンター事業の充実</b>	課所	子育て支援課	事業費	9,144,000円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
市民の育児と他の活動との両立を支援する。			子育ての援助を受けたい方・行いたい方を地域でコーディネートするファミリーサポートセンターを運営するとともに、病児・緊急対応強化事業として、緊急サポートセンター事業を実施する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 保育施設等への送迎や一時預かりなど、会員同士による相互援助活動をコーディネートするファミリーサポートセンターを運営し、仕事と育児の両立を支援した。						
【活動実績(活動指標)】 提供会員数			【取り組みの成果(成果指標)】 利用件数			
<目標> 390 人 <実績> 371 人 達成度 4 (概ね達成できた)			<目標> - 件 <実績> 4,157 件 達成度 5 (十分に達成できた)			
			利用希望に対し適切なコーディネートを行い、相互援助活動につなげた。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<H28実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			今後とも適切に事業を実施する。			

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備  
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援  
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】  
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)  
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上  
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満  
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満  
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

047	事業者名	<b>事業者に対する仕事と育児の両立支援の啓発</b>	課所 事業費	子育て支援課 —
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市内の事業者に、仕事と育児の両立支援について普及・啓発を行う。		市内の事業者における、育児休業が取得しやすい環境の整備や子育ての時間を確保するための取り組み、その効果などを、事業者に周知する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 市内事業者において仕事と育児の両立支援が推進されるよう、こしがや子育てネットを活用して情報提供を行った。				
【活動実績(活動指標)】 周知の回数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 1 回 <実績> 1 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
妊娠、出産、育児を支える職場の環境・体制に関する情報を発信した。		こしがや子育てネットを通じて、多くの企業に仕事と子育ての両立支援に関する啓発を行うことができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

048	事業者名	<b>障がい者介護支援</b>	課所 事業費	障害福祉課 2,851,900円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民の介護と他の活動との両立を支援する。		在宅の心身障害者の地域生活を支援するため、一時預かり・派遣による介護サービス・外出援助等を実施する登録サービス提供団体に補助金を交付する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 一時預かり、派遣による介護サービス、外出援助等を行う。				
【活動実績(活動指標)】 利用登録者数		【取り組みの成果(成果指標)】 延べ利用時間数		
<目標> 195 人 <実績> 245 人		<目標> ー 時間 <実績> 4,025 時間		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
当該事業の目的は緊急時等の一時的な利用であるため、実際の利用者数と登録者数では差異が生じる。しかし、登録者数の増加は当該事業の市民への周知が進んでいると考えられ、目標は達成できたと考えられる。		事業の内容から目標値の設定は難しいが、今年度の利用時間数と昨年度の利用時間数(2,751時間)を比較すると、利用時間数は増加している。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
越谷市に登録をしている事業所は現在18か所あるが、市内の事業所は4か所のみとなっており、利用登録者が緊急時に利用できないことがある。		市内及び近隣の事業所から団体登録の希望があれば登録を進めていく。また、利用登録者が緊急時に利用できない場合は、利用者の状況を確認しながら、他のサービスの利用を進める。		

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備  
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援  
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】  
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)  
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上  
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満  
 3(達成まで今一歩): 目標値の60%以上80%未満  
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

049	事業名	障がい児介護支援	課所	子育て支援課	事業費	8,278,750円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
市民の介護と他の活動との両立を支援する。			在宅の心身障害者の地域生活を支援するため、一時預かり・派遣による介護サービス・外出援助等を実施する登録サービス提供団体に補助金を交付する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 一時預かり、派遣による介護サービス、外出援助等を行う。						
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】			
利用登録者数			延べ利用時間数			
<目標> 210 人 <実績> 234 人 達成度 5 (十分に達成できた)			<目標> ー 時間 <実績> 3,480 時間 達成度 5 (十分に達成できた)			
サービス団体の活用により、在宅の心身障がい児の生活をサポートした。			心身障がい児の生活をサポートするとともに、介護者の負担軽減も図った。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<H28実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			今後も適切に対応する。			

050	事業名	介護(予防)サービス事業の実施	課所	介護保険課	事業費	17,684,305,713円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
介護保険サービスの実施により家族の介護に関する負担を軽減することで、介護と他の活動との両立を支援する。			要介護及び要支援者が、介護を必要とする程度に応じて利用した介護(予防)サービスの費用を介護保険から給付する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 要介護及び要支援者が利用した居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス等の費用について、利用者負担額(1割又は2割)を除いた額を、埼玉県国民健康保険団体連合会を通じ、介護サービス提供事業者へ支払った。低所得者に対しては、経済的理由により介護サービスを抑制することのないよう、利用者負担の軽減を行い、適切な介護サービスの利用を促進した。						
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】			
介護(予防)サービスの年間利用件数(延べ)			介護(予防)サービス利用者率			
<目標> 318,074 件 <実績> 276,397 件 達成度 4 (概ね達成できた)			<目標> 11.48 % <実績> 9.87 % 達成度 4 (概ね達成できた)			
			介護(予防)サービス利用者数÷65歳以上高齢者数×100			
事業の評価						
B (概ね順調に取り組んでいる)			平成28年3月より介護予防・日常生活支援総合事業(以下総合事業)が開始され、介護予防訪問介護及び介護予防通所介護に相当するサービスが総合事業へ移行した。そのため介護(予防)サービスの利用件数及び利用者数は目標値を満たしていないが、利用者に必要なサービスは提供することができた。			
<H28実績> B						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
要介護及び要支援者が真に必要なサービスが受けられているか、不適切なサービス提供を受けていないか確認する必要がある。			要介護及び要支援者のケアプランの点検を行うことで、ケアプランの質的向上を図り、併せて事業者の介護サービスに対する意識を高め、不適切なサービス提供を防止する。			

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備  
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援  
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】  
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)  
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上  
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満  
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満  
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

051	事業名	介護保険に関する情報提供	課所 事業費	介護保険課 1,166,400円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
介護保険制度の周知を図り、介護保険サービスの利用を促進し、家族の負担を軽減することにより、家族介護と他の活動との両立を支援する。		介護保険制度について、広報こしがや等を活用したPRを行うとともに、説明会や講習会等を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 介護保険に関する説明会の開催時や要介護認定等の新規申請者に対する説明用資料として、介護保険パンフレット「あんしん介護保険」を作成し、介護保険制度の趣旨の普及を図った。				
【活動実績(活動指標)】 説明会等の回数		【取り組みの成果(成果指標)】 パンフレットの配布件数		
<目標> 10 回 <実績> 6 回 達成度 3 (達成まで今一步)		<目標> 10,000 件 <実績> 15,000 件 達成度 5 (十分に達成できた)		
目標達成まで今一步であったが、高齢化が進み、要介護認定者も増加していく中で、市民が介護保険制度を理解し、また、介護保険サービス事業者が適切に介護サービスを提供できるよう、出前講座等の説明会において介護保険制度に関する情報提供していく。		地区センター、出張所、地域包括支援センター等の公共施設にパンフレットを配架することにより、市民が介護保険制度を理解する上で、よりよい環境づくりに努めた。		
事業の評価				
C (より積極的な取り組みが必要)		説明会等の回数は、目標値を達成していないものの、介護保険制度の周知や、介護認定申請における窓口での案内、さらに、出前講座等での配布資料としてパンフレットを活用しているが、引き続き、積極的に取り組んでいく。		
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
これまでの取組により、一定の効果を挙げたが、介護保険制度の利用を適正に推進するため、制度のさらなる周知を図る方法について、今後も検討していく必要がある。		多くの市民の方に周知していく必要があることから、制度について、印刷物や地域包括支援センターによる利用のPRを行う。また、制度の周知方法について、市発行の広報、市ホームページ等を積極的に利用し活用を図るとともに、出前講座の活用をより一層促していく。		

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備  
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援  
 取り組みの方向 (2) 家庭・地域生活における男女共同参画の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】  
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)  
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上  
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満  
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満  
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

052	事業名	<b>両親学級の開催</b>	課所	市民健康課	事業費	930,000円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
妊婦とその配偶者に、育児の相互協力を促進するための意識啓発を図る。			新生児の保育の講義や沐浴実習など、妊娠・出産・育児に関する正しい知識を両親で習得するための講座を開催する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 3日間を1コースとして、1日目妊娠中の栄養・調理実習、2日目歯科保健・妊婦体操・お産の経過、3日目沐浴実習・新生児の保育・妊婦シミュレーションを行った。						
【活動実績(活動指標)】 参加延べ人数 〈目標〉 1,515 人 〈実績〉 1,272 人 達成度 4 (概ね達成できた)			【取り組みの成果(成果指標)】 満足度 〈目標〉 100 % 〈実績〉 98.7 % 達成度 4 (概ね達成できた)			
3日間コース延べ参加人数は1,015人。3日目のみの参加人数は257人となった。なお、雪の影響で激減した日もあった。			母親学級・両親学級に参加してよかったと回答した方が98.7%と満足度が高い。			
事業の評価						
B (概ね順調に取り組んでいる)			3日間コースの参加者数が減少していることから、活動実績の達成度が減少している。			
〈H28実績〉 B						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
職業を持っている妊婦が増加していることから、日程に合わせた教室の参加が難しい方もいることが考えられる。育児について気軽に相談できる体制づくりが必要である。			子育て世代包括支援センターを開設し、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援をしていく。			

053	事業名	<b>男性の男女共同参画推進のための事業の実施</b>	課所	男女共同参画支援センター	事業費	50,000円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
男性に家庭や地域活動などへの参画を促す意識を啓発する。			さまざまな世代に対応したテーマを設定して講座等を開催する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 男性臨床心理士を講師に「男性のためのコミュニケーションセミナー」を2回連続講座で実施した。①6/17「関係を作るためのコミュニケーション」、②6/24「関係を深めるためのコミュニケーション」						
【活動実績(活動指標)】 実施事業数 〈目標〉 1 回 〈実績〉 1 回 達成度 5 (十分に達成できた)			【取り組みの成果(成果指標)】 〈目標〉 〈実績〉 達成度 5 (十分に達成できた)			
参加人数:36人(男性36人) 募集人数:40人(20人×2回)			「伝え手と受け手での双方向で共有することが必要だと感じた」「自分の言葉、コミュニケーションの振り返りと確認ができた。意識して聴き、表現していこうと思う」などの感想があった。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)			アンケートや講座中の感想から、今後のコミュニケーションに対する気付きが得られていた。また、2回を通じて参加者の満足度が8割を超え(①②のいずれも83%)、男性が家庭や地域活動に参画することへの啓発にもつながった。			
〈H28実績〉 A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			今後とも適切に事業を実施する。			

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備  
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援  
 取り組みの方向 (2) 家庭・地域生活における男女共同参画の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】  
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)  
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上  
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満  
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満  
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

054	事業名	男性の生活自立能力開発のための講座の開催	課所 事業費	市民健康課 375,150円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男性の家事などの生活能力向上を促し、家庭内の固定的性別役割分担の見直しを図る。		男性を対象に、調理技術や栄養知識などを学ぶための講座を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 基本の和食を中心とした献立についての講話と調理実習(男の料理教室 13回のうち12回が調理実習、1回は講話のみ)				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 68.3 %		<目標> 90 % <実績> 95.2 %		
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:213人 募集人数:312人(24人×13回)				
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
より多くの男性市民が興味関心を持つように取り組む。		内容や広報の仕方などについて工夫を行っていく。		

055	事業名	父親サロンの開催	課所 事業費	子育て支援課 -
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
父親に、育児の相互協力を促進するための支援を行う。		未就学の子どもを持つ父親同士の交流の場として父親サロンを開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 未就学の子どもを持つ父親を対象に父親サロン等を開催し、相談や情報提供を行ったほか、父親同士の交流を促進し、父親の育児参加を支援した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
延べ参加人数		達成度		
<目標> 170 人 <実績> 273 人		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
気軽に参加しやすい講座や参加型イベント等で父親同士の交流促進を図った。				
父親サロンを開催し、父親が気軽に相談できる場として積極的に活用していただいたほか、父親を対象とする講座や父親参加型のイベントを開催し、サロンを利用したことがない父親でもサロンを利用しやすくなるようきっかけ作りにも取り組んだ。				
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 II 男女がいきいきと暮らせる環境の整備  
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援  
 取り組みの方向 (2) 家庭・地域生活における男女共同参画の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】  
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)  
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上  
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満  
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満  
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

056	事業名	父親を対象とした子育て講座の開催	課所 事業費	児童館コスモス 17,500円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
父親に、育児の相互協力を促進するための意識の啓発を図る。		父親を対象とした子育て講座を開催する。(両親での参加も可能)		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 父と子のスキンシップの機会をつくることを目的に、父子で楽しめるリズム遊びや製作を中心に5回開催。ただし、一人親家族等に配慮し、保護者であれば参加可能とした。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 100 % <実績> 76 %		<目標> 100 % <実績> 80 %		
達成度 3 (達成まで今一歩)		達成度 4 (概ね達成できた)		
参加人数:191人(父親:47人、母親41人、子ども103人) 募集人数:250人				
事業の評価				
C (より積極的な取り組みが必要) 参加者は昨年より少ないが、定員の約7割を超えており、アンケートによると満足の声が多かった。				
<H28実績> B				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
父親が参加しやすい環境づくりに努める必要がある。		cityメールを活用し、PRに努めていく。		

057	事業名	父親を対象とした子育て講座の開催	課所 事業費	児童館ヒマワリ 36,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
父親に、育児の相互協力を促進するための意識啓発を図る。		父親を対象とした子育て講座を開催する。(両親での参加も可能)		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 父子で楽しめる運動遊びや制作等を中心に年9回開催。ただし、ひとり親家庭等に配慮し、保護者であれば参加可能とした。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 100 % <実績> 89 %		<目標> 100 % <実績> 98 %		
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
参加人数:276人(父親53人、母親70人、幼児129人、その他24人) 募集人数:310人				
事業の評価				
B (概ね順調に取り組んでいる)				
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
父親が参加しやすい環境づくりに努める必要がある。		今後も父親が気軽に参加できるよう、事業で行う遊びの内容を充実させていく。		

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備  
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援  
 取り組みの方向 (2) 家庭・地域生活における男女共同参画の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】  
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)  
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上  
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満  
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満  
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

058	事業名	育児・介護等と仕事の両立支援のための事業の実施	課所 事業費	男女共同参画支援センター 30,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
仕事と育児・介護等の両立を支援する。		働きながら子育てや介護等を両立することに関する講座等事業を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 認定NPO法人さいたまNPOセンター越谷事務所と協力し、10/14「今から考える！仕事をしながら家族の介護」を実施した。介護と仕事の両立の体験談や市内の介護支援制度・介護サロンの情報提供のほか、参加者同士の交流を通じて「介護離職」防止のための情報を共有した。				
【活動実績(活動指標)】 実施事業数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 1 回 <実績> 1 回 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> <実績> 達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:16人(女性9人、男性7人) 募集人数:15人		「男性・勤務者のため、土日開催日は良い」「本当の体験を開ける、今日の催しみたいなのを続けてほしい」「介護サロンのこととか初めて知りました。参加したいです」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		将来の介護を不安に感じて参加した現役世代の方が多く、「介護離職防止」のための講座のニーズの高さ、必要性を認識できた。参加者に仕事と介護の両立について伝えることができたほか、地域の介護支援制度に関するさまざまな情報提供を行い、「介護者サロン」などの社会資源につなぐことができた。		
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		